がん罹患・死亡データの解析方法に関する研究

講師　加茂憲一　　一般教育　数学教室

内容の要約
　当教室では数学理論を用いて，様々な現象を解析する事を目的とした研究を行っていますが，その1つに，がんの罹患・死亡データを基にした解析があります．我が国のデータの特性を踏まえ，妥当な解析方法の探索，そして結果の疫学的な考察を行い，解析結果は解析方法の洗練へ反映させます．

目的：がんの国レベルでの動向解析

指標

① 死亡
② 罹患
③ 生存率
etc…

動機

がんの**動向を正確に把握**することは，
がん対策の画策における貴重な情報

① 死亡
人口動態統計：高精度かつ即時的
2次予防効果を反映

② 罹患
地域がん登録（約15府県）
高くない完全性，全国値公表は約5年遅れ
1次予防効果を反映

有用な罹患データの構築
完全性の高い全国罹患数の把握（**推定**）
タイムリーな罹患数の把握（短期の**予測**）
＋
完全性の高い死亡データ

実務における弱点をカバー

期待される解析
将来予測
生涯がんリスクの算出
リスク要因の探索
地理分布（地域差）の検討

解析

解析結果から
モデルを洗練

妥当な**数理モデル**による
妥当な**解析手法**により
実務的な弱点をカバー

モデルと解析結果を基にした，効果的ながん対策シナリオの作成

連絡先：加茂憲一　kamo@sapmed.ac.jp